

「みんなで作ろう 市民トーク」開催結果（萩間地区）

1 日時等

- (1) 日 時 令和元年6月26日（火） 午後7時00分～午後8時40分
- (2) 会 場 萩間公民館
- (3) 内 容 市長による市政情報、地区が希望する説明、質問表、意見交換
- (4) 参加人数 60人



2 地区の希望する市政内容について説明（19:40-19:53）

(1) 統合型リゾート（IR）誘致について

市政説明用資料にて回答

(2) 区画線（センターラインと外側線）の復旧について

萩間地区には企業の工場が多数あります。こうした工場に材料を搬入したり製品を搬出する大型車両や従業員の通勤車両が地区内の国道、県道、市道を通行しています。このため一部の道路の区画線（センターラインと外側線）が薄くなり見にくくなっています。

区画線が見にくいと交通事故の危険が増大しますので、道路状況を調査し区画線の復旧をお願いします。

【回答：杉本市長】

区画線については、市においても日頃から道路パトロールを実施しながら、舗装修繕等と合わせて順次対応しています。県管理の国道、県道については県に報告していますが、パトロールで見つけきれない部分もあるので、気づいた箇所は市に要望してください。

3 個人からの質問票による意見・質問（19:53-20:40）

（1） スズキ自動車リコールに伴う牧之原市の税収および新規社員採用への影響についてについて

スズキ自動車株式会社が、不正検査問題で 202 万台余りのリコールを出し、それらに対する修理費用など 800 億円に及ぶと報道されており、当相良工場での生産車両も対象となっている。減収減益は避けられない状況の中、市への税収の減少、来年度の新規採用社員の抑制など当市への影響はないか。

【回答：杉本市長】

税収が減少する可能性はあるが、市の予算が組めなくなるほど大きなものではありません。収益も伸びているので社員採用にも影響はないと思われます。スズキ相良工場については、さらに充実させていくと聞いています。

（2） 市内保育園の嘱託保育士の新規雇用について

当市内の市立保育園には、「嘱託保育士」という身分の方がいて、国で推進する働き方改革では同一業務において正規雇用と非正規雇用との処遇などの改善を図ることを進めているが、市の「嘱託保育士」の雇用の考え方と、今後正規雇用をするのかどうか教えてほしい。

【回答：杉本市長】

現在、嘱託保育士として雇用されている職員は、国の法改正により来年 4 月からは「会計年度職員」という正規職員と同じ処遇で雇用しなければなりません。雇用契約は 1 年更新ではありますが、身分は正規と同等の取り扱いとなり、非正規雇用ではありません。園が民営化した場合はそのまま引き継ぐことになります。

老朽化している保育園が市内にあと 7 園あり、全て建て替えるには 35 億円かかります。公設公営のままだと全部市がキャッシュで 35 億円出さなければなりません。2000 年当初に小泉内閣が「民でできることは民で」ということで官民一体改革をやりました。民間が建て替えるなら 50% 国が費用を持つということで、約 17 億円を国が出してくれる。そして民間事業者は 4 分の 1 を持ち、市の負担というのは残り 4 分の 1 になります。民営化すると運営費も国が 2 分の 1、県が 4 分の 1 持ちます。そうすると市の負担は 4 分の 1 で済みます。

お金のことだけではなく、今の公立保育園の保育サービスをさらに充実させ、安心・安全に預けられるような園にしたいと思っています。浮いた予算は、給食費の無償化、0～2 歳児の保育料免除、全部やることが難しければ第 3 子以降、あるいは第 2 子以降の保育料無償化など、さらなる子育て支援の充実を進め、子どもを預かる環境を良くしたいと考えています。

(3) 大寄原野にオフロードのコースを作りましょう。

バイクと自転車とクロスカンントリー全てに対応できるものはどうでしょう。「サーフィンとオフロードのまち、牧之原」。I Rより若者にアピールできると思います。花粉症の若者を集めて「大伐採まつり」なんてどうでしょう。切ったあとにはケヤキを植えて300年経ったら売りましょう。1本1,000万円で100本で10億円！ ネットの時代です。町をアピールする方法はいろいろあると思うのですが…。I Rには強い違和感があります。デメリットも多い。何とか他の方向で大寄原野を考えていきたい。

【回答：横山副市長】

まさにこの提案も企業誘致であり、この事業を誰がやるかだと思います。今まで市としても、大寄からの要請を受けて色々な企業誘致を行ってきましたが、引き合いがあったのは太陽光発電であったり、産業廃棄物処理施設だったり、今言われたような企業はありませんでした。

そうした構想を認めてもらえるような企業・団体がありましたら、ぜひ市や大寄企業誘致推進委員会にご紹介いただき、委員会にかけて、企業を誘致するかを決めていただくことになると思いますので、よろしくお願いします。

(4) 学校等の再編について

児童数減少の時代の流れで、学校再編の計画があると予想しています。例えば萩間小、菅山小統合など計画の段階でも情報公開をお願いしたい。ただし、保育園は地域に密着していたほうがいいのではと考えています。

【回答：橋本教育長】

学校再編についてはお答えします。先週、教育シンポジウムを開きましたが、牧之原市では今年3月に「牧之原市望ましい教育環境のあり方に関する方針」が定められました。

現在、議会に学校再編計画の策定委員会設置の条例を提案していますが、この委員会では専門家を交え、市民の皆さまの意見を聞きながら、2020年までの2年間をかけて再編計画を作っていく予定です。途中で議会や市民の皆さまには経過を含め、様々な形で報告をしながら進めていきたいと思っています。

現時点ではこの計画は具体的なものは全くありませんので、どうしていくかということも計画の中で話し合いながら進めていくこととなります。

今は、昔に比べて児童数が減ってきています。このままいくとどんどん減ってしまうということで、減少のカーブをできるだけ緩やかなものにするための対策をしています。規模が小さくなったから、学校が古くなったから、学校を再編するという考え方もありますが、これからICTや産業も変わります。時代の変化に対応できるような教育をしたいのが第一の目的ですので、望ましい

教育環境が実現できるように、こういった学校に通わせたいなという学校づくりができればと考えています。

【回答：榛葉保育園民営化推進室長】

保育園の施設については、市内公立、幼保園とこども園を含め11園あります。これからその施設をどうしていくかということで、計画を策定する予定です。

保育園等施設マネジメント個別計画とありますが、各施設をこれから継続していくのか、適正な規模を確保するために統合していくのか、民間の活力を最大限に活用していくのかということを検討していく中で、一番大事な保育のあり方・必要性・サービスの維持向上を踏まえながら、サービス利用中の保護者、地域代表の地区長、保育士に参加いただいて、意見交換を実施しています。

その中で出てきた意見を踏まえながら、方向性を決めていきたいと考えていますが、基本的には各地域の核として、保育園が1園は必要だと考えています。萩間地区にも地域に必要ではないかという意見があるということは踏まえていきたいと思います。

【回答：杉本市長】

担当からも話があったように、今は保育園を再編するという考え方ではありません。各保育園が老朽化しており、私は建て替えたいと思っています。牧之原保育園や萩間保育園は、耐震工事は終わっていますが、大変古い。それを全部建て替えるには35億円必要です。国の支援はありません。補助金をもらうためには民営化をなさйтеというものが、小泉内閣当時に決めたことです。

一方で民営化したら保育のサービスの質が落ちるかと言えばそうではありません。今、指定管理を静波・細江・あおぞら保育園でやっています。相良保育園、須々木幼稚園なども民間ですが、民間だから保育の質が落ちるとか、保育士がすぐに解雇されるとか、そんなことはありません。

静波・細江・あおぞら保育園は、保護者から非常に人気があります。延長保育も公設公営保育園は6時半までですが、民間では夜7時までやっています。静波保育園は看護師さんを雇用して、病後児保育もやっています。民間幼稚園は子育て支援センターも運営していて、未就園児も見てくれています。官より民のサービスの方が良いところがたくさんあります。

嘱託職員や会計年度任用職員は一年契約です。民間に移ればずっと雇用が確保されますし、正規職員になります。処遇としても、国は民間保育士さんの給与の処遇改善をやっています。市からの委託料も1.2倍ほどに上がっています。これはすべて人件費アップ分です。主任保育士さんは8万円アップ、副主任は4万円アップというような処遇改善をし、公務員の保育士と給与格差がない体制をやっています。

そういった中で財源をしっかりと確保し、その分を0～2歳児の保育料軽減、

第2子以降の保育料無料化、給食費の無料化など、子どもを産んでも安心して育てられるという環境を作ることが大事だと思います。

また老朽化した保育園の建物を近代的な子どもの環境を良くする施設にするためには、財源を確保しつつ保育サービスを良くしていかなければなりません。

もう一つは義務教育学校というのを考えています。単クラスや一学年に十数人しかいない環境よりも、最低3クラスあるような学校で、外からも「その学校で学びたい」というような学校を考えています。

しかし保育園は、地域に根差した保育をやりたいと思っています。保育園には0歳児3人に対して保育士1人、年長児は20~25人に対して保育士1人という決まりがあります。例えば小規模園になると年長児が10人しかいないところに、保育士を1人つけなければいけないということになります。そうすると採算が合わないのではないかという話になりますが、小規模園については小規模加算というのがあり、1.5倍の委託料を出せるという国の基準があります。小規模園でも運営できると民間事業者から聞いていますので、手が挙がらなければ公設公営で運営しなければいけないと思っています。

今いる公務員の保育士さんの皆さんがいる限りは、すべてを民営化するのではなく一部は公設公営で残すことも必要です。さざんかの中にもこどもセンターがあり、放課後児童クラブなど子育てに必要な場所があり、専門家が必要なところもあります。そういったところに公務員の保育士さんに回ってもらうこともあります。私は今いる保育士さんを解雇することは全く思っていませんし、嘱託保育士さんの処遇も良くしたいと思っています。

(5) 道路沿いの樹木伐採について

場所は牧之原市白井（濁沢公会堂前）の道路沿い（70~80m）。今までは地元住民で枝払いなど対応してきたが、木が大きくなり距離も長いことから対応が厳しくなってきた。市でなんとか対応は可能か？ できない場合は、地元負担で業者に発注した場合費用の補助はあるか？ 土地使用者への伐採交渉は市にお願いできるのか。

【回答：飯塚建設部長】

樹木の伐採については、道路愛護の観点から地元で対応できる範囲の伐採はお願いしたいところですが、今回のケースは対応が厳しいということですので、一度現場を見て検討させていただきたいと思っています。改めて区を通じて、建設管理課へご相談いただければと思います。

【再質問（質問者とは別）】

私の区長時代に一度そういう経験があります。地主さんがどうしてもできないということで建設管理課に相談し、やってもらったことがあります。

【回答：飯塚建設部長】

基本的には道路に出ている木については、そのお宅で切っていただくというのが原則になります。ただしなかなか切っていただけない状況で、交通に支障がある、第三者に危害が及ぶようなことになれば、道路管理者としてやらざるを得ないということで、前回の時も市が対応したものと思います。

今回は写真もいただいていますし、地域の方立会いのもと、一度現地を確認したうえで検討します。

(6) 旧広域農道の舗装修理依頼について

数年前から白井区を通じてお願いしていますが、広域農道の丸中運送前後。相良から榛原へ抜ける幹線道路でもあり、白井工業団地、小糸等工場関連の車両も多数往来するため、道路に近接する住宅は大型車両が通るたびに揺れるのが現状です。轍や簡易舗装の凹凸が原因と思われます。せめて住宅のあるところだけでも部分的修繕ではなく全面舗装修繕をお願いしたい。

【回答：大石産業経済部長】

広域農道の関係については、坂部から白井の有限会社グローブさんの交差点あたりまでが榛南2期地区ということで榛原方面から随時、舗装補修を進めています。白井地区については(株)静茶園（白井工業団地内）から下に降りてくる道路がありますが、その辺り（82mほど）を今年度に調査計画し、来年度に工事する形になると思います。

要望された丸中運送さん周辺は榛南2期区域に入っていないませんが、3期区域として丸紅さんまで対応していただくよう県に要望しています。

【再質問】

3期はいつ頃になりますか。一度現場を見に来てもらえれば、家がどれだけ揺れるか分かります。質問票に、同じ通りに住んでいる人たちに署名してもらいました。みんな揺れると言っています。私の家が一番古いから揺れると思っていましたが、建てたばかりの家も揺れます。

穴の補修箇所を大型車が通るたびに、前輪と後輪で2回ガタガタと家が揺れます。地震が来たような感じで揺れます。現場に来てもらわないと分からないので、この場で終わりではなくてなるべく早く来てもらいたい。

【回答：大石産業経済部長】

県と相談させていただきたいと思います。私もそういう所に住んでいますので、状況はよく分かります。

(7) ごみの処分費用について

草刈り機が買って5年くらい経ち故障したので、ごみの回収チラシや、ごみ分別大作戦という冊子を見て環境保全センターに行きました。

軽トラックに載せて環境保全センターの受付に行き、現地の指示に従いクレーントラックに廃棄したところ「1,000円払ってください」と言われました。

「木を集める場合は300円。他の物は10kgまでは10円」と記載されていきましたので、その値段に驚きましたが、トラックの運転手が金のブレスレットをしていて少し強面だったので、1,000円払って帰宅しました。

本日、環境保全センターに電話をして料金が間違いないか確認したところ、間違いないとの事で冊子にも書いてあると言われました。帰りに牧之原市内の他のところで聞いたところ、「うちに持ってきて来てくれたら草刈り機なら無料でいい。むしろお金を払ってもいい」と言ってくれました。

環境保全センターの業者は落札で決めており、料金も任せているとのことで、受付で料金すら把握していない。それでは行政とはいえない。私たちは市でやっていることだから、安いと思って持っていく。落札業者によって料金が変わるのであれば、そのつど種別毎の料金を明記するべきです。小さなことですが、大事なことです。看板や冊子に料金にも記載するなどの改善をお願いします。

【回答：杉本市長】

私は施設の管理者ですので、至急状況の確認をし、改善すべき点は早急に改善します。不快感を与えてしまったことに関しては、この場をお借りしてお詫びさせていただきます。しっかりと調査させていただきます。

(8) IRについて

私は神寄区の代表として萩間小学校の評議員をやっています。冬は早々に暗くなります。中学から自転車で帰ってくる子どもに、親としたら心配です。

私は市長とはカジノの関係では対話させていただいていますが、評議員の立場としても、萩間にこういう物ができた時に、子どもたちを安全に夜送り出すことができるかどうかという治安の問題が、私にとっては一番大きかったので大寄の説明会の時にも言わせていただきました。

他のお母さんたちと話をしているとすごく不安がっています。萩間の中には反対だという人もたくさんいます。詳しい説明は、萩間でいつ開催されるのか。萩間の皆さんの気持ちは、いつ諮っていただけるのかお聞きしたいです。

【回答：杉本市長】

先ほどIRの説明をしました。萩間地区の皆さんへの説明会も開催するよう考えています。時期については、担当・地域の皆さんと調整して開催したいと思います。

もう一つはしっかりとした根拠データの整理も必要であろうことから基礎調査が必要です。「考える会」の皆さんからも質問をいただいておりますが、その質問に答えるための調査や研究をしたうえで、しっかりとした数字を示したいと思っています。ただし、それをやっていると時間がかかりますので、その前に今の状況・これまでの取り組みの話し合いを持ちたいと思っています。

【再質問】

若い方の中には、そういう物ができたら出て行くという人もいました。これは萩間の問題でもありますのでお願いしたいと思います。

【回答：】

そういった方もいらっしゃいますし、私もいろんな方とお話をしていますが、特に今お茶の話をしました。農家の皆さんが期待をしています。多くの人があることによって出口ができ、作ったものが売れる。新たな茶に変わる作物を作って、農業が活性化できるということで期待をしているご意見もたくさんあります。賛成・反対で市を二分してやろうということは私も思っていません。反対している方もいますし、賛成している方もたくさんいるということをご理解をいただきたいと思います。